

# 座長コラム「長岡の風」

第19回 2025年7月

## 経営者ネットワーク

長岡経済・産業連携会議 座長：高野裕

私は経営の良し悪しは経営者本人の問題だと考えている。特に中小零細企業においては、経営者の姿勢が全てだと思っている。経営者がどのような姿勢で経営に取り組んでいるかということだ。そこで、今年の中小企業白書を見ると経営者ネットワークへの参加についてデータがまとめられていた。それを見ながら、考えてみたい。

経営者ネットワークに参加しているといっても、その種類によって4つに区分される。一つは、地元の同業種の集まり。そして、その対角にあるのが広域の異業種の集まりだ。その区分を表にしたものが、下記の属性分類図（第2-1-75図）だ。そして、この4分類で、それぞれどんな効果が得られたのかについて表示したものがもう一つの図（第2-1-78図）だ。

この図をよく見てほしい。「成長に向けた新たな発想を得た」とする意見と、「成長意欲が高まった」とする意見、さらには「ビジネスチャンスにつながった」とする意見の合計が一番多い属性は、地域を超えたネットワークで異業種も交えたネットワークの属性である。その反対に「特に効果を感じていない」とする意見が一番多かったのは主に同じ地域の同業種のネットワークとなっている。しかし、この同じ地域の同業種ネットワークでは「経営の悩みを共有できた」とする意見が一番多くなっている。

私は社長の仕事は三つあるとっている。それは「本、人、旅」。「本」は情報を収集すること、勉強をすることだ。「人」はネットワークを作ること、人に会うことだ。そして「旅」は異文化に触れること、発想の転換を図ることだ。このことから、この白書が論じている経営者ネットワークのデータも同じことを示している。いろいろな勉強会に参加して、いろいろな人に会って、いろいろな刺激を受けてくることが、経営者には大切だという意味を示しているものと考ええる。できれば、同じ地域だけではなく、広域のネットワークに参加した方が、それも異業種の集まりの方が「異文化」に触れるチャンスが多い。（破線の丸は高野が記入）

まず第一歩は地域の同業者のネットワークに参加し、同じ経営の悩みを共有することから始まり、だんだん意欲を高めて異業種の勉強会、さらには広域の勉強会にも参加することで、素晴らしい出会いを得て、結果としてあなたのビジネスにもプラスになることだと思う。というよりも、そのようなネットワークに参加する場合、自分の利益だけを考えているようでは素晴らしい出会いにはなかなか出会えない。損得ではなくて、自分が楽しい、刺激的と思えるネットワークに参加することが大切だ。損得でない付き合いの中に、自分と気の合う仲間に出会える。そして、そんな仲間と家族ぐるみの付き合いができるようになると、それがあなたの宝物になるはずだ。その結果がビジネスにもプラスにつながってくることになる。ぜひ、あなたの一生の宝探しだと思って、異業種の広域ネットワークに参加して勉強されることをお勧めしたい。

（以下の図は2025年版中小企業白書より転載）

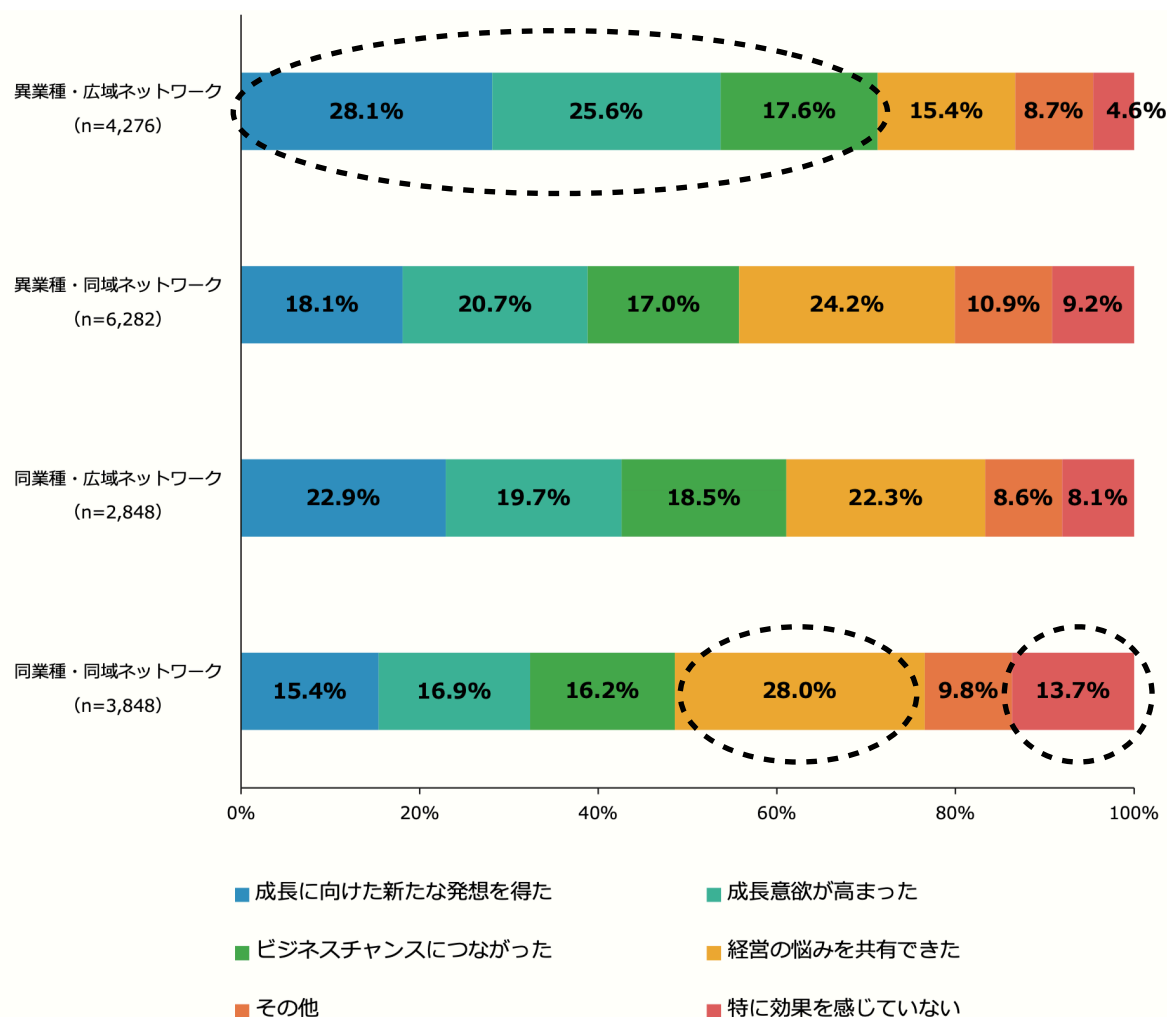
第2-1-75図 経営者ネットワークの属性分類図

|    |              | 業種           |               |
|----|--------------|--------------|---------------|
|    |              | 主に同業種のネットワーク | 異業種も交えたネットワーク |
| 地域 | 主に同地域のネットワーク | 同業種・同域ネットワーク | 異業種・同域ネットワーク  |
|    | 地域を越えたネットワーク | 同業種・広域ネットワーク | 異業種・広域ネットワーク  |

資料：（株）帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」

（注）ここでの「同地域」とは所在の都道府県内を指す。

第2-1-78図 経営者ネットワークへの参加で最も得られた効果（経営者ネットワークの属性別）



資料：（株）帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」

（注）1.経営者ネットワークに「参加している」と回答した事業者に聞いたもの。

2.経営者ネットワークに参加することによって最も得られた効果について、「その他」は、「経営の悩みの解決策を得られた」、「優良な支援機関の紹介を受けられた」、「その他」と回答した事業者の合計。